

八木良太

見たいものしか見ない・聞きたいことしか聞かないといった、我々の制限的な知覚システムあるいは態度に対する批判的思考をベースに作品制作を行う。既製品を用いて作品を構成し、その現れによって人間の知覚やそれを利用した工学的システムを浮かび上がらせるような作品を発表している。音響作品をはじめとして、オブジェや映像、インスタレーションからインタラクティブな作品など、表現手法は多岐にわたる。

- 1980 愛媛県生まれ  
京都府在住
- 2003 京都造形芸術大学 芸術学部 空間演出デザイン学科 卒業
- 2009 大阪大学 ウェブデザインユニット 特任研究員
- 2010 ACC (Asian Cultural Council) の助成により半年間ニューヨークに滞在 Location Oneレジデンスプログラムに参加
- 2012 京都市立芸術大学大学院 美術研究科博士(後期) 過程彫刻専攻 単位取得満期退学  
京都芸術大学 芸術学部 空間演出デザイン学科 専任講師
- 2022 京都芸術大学 芸術学部 空間演出デザイン学科 准教授
- 2024 京都芸術大学 芸術学部 情報デザイン学科 准教授

## 個展

- 2024 「常設展示：八木良太」市とコージ／秋田  
「生成夢—generative dreams—」板室温泉 大黒屋／栃木
- 2023 「声ノ海」W.onespace、深圳／中国
- 2021 「浦島太郎の宇宙旅行」無人島プロダクション、東京
- 2019 「Vessels for Memory」香港中文大学、深圳／中国  
「Vessels for Memory」5Art、広州／中国
- 2018 「MUSIC FOR LAZY SUSAN」無人島プロダクション、東京  
「What is Essential is Invisible to the Eye: Works of Lyota Yagi」ADM Gallery、シンガポール
- 2016 「メタ考古学」無人島プロダクション、東京
- 2014 「サイエンス／フィクション」神奈川県民ホールギャラリー、神奈川
- 2013 「Time Parallax」無人島プロダクション、東京
- 2011 「高次からの眺め」無人島プロダクション、東京
- 2010 「事象そのものへ」無人島プロダクション、東京
- 2008 「回路」無人島プロダクション、東京  
「エマージェンシーーズ8 八木良太 "回転"」NTTインターコミュニケーションセンター、東京
- 2007 「直線か円環か積層か」無人島プロダクション、東京  
「クリテリオム 70 八木良太」水戸芸術館現代美術ギャラリー、茨城
- 2006 「waltz」無人島プロダクション、東京  
「timer」無人島プロダクション、東京

## グループ展

- 2024 「Decoding Wonders」The Terminal KYOTO、京都
- 2023 「コネクションズ 空洞をうめる」千葉市美術館、千葉  
「Liquidity」瑞雲庵、京都
- 2022 「みる冒険 ゆらぐ感覚」愛媛県美術館、愛媛  
「コネクションズ—さまざまな交差展—」小田原三の丸ホール、神奈川
- 2021 「SENSORY MEDIA LABORATORY 1/9」THEATRE E9 KYOTO、京都
- 2020 「KYOTO STEAM 2020」京都市京セラ美術館、京都  
「The South is Not an Island」OCAT Shenzhen、深圳／中国  
「NOT IN THIS IMAGE」Kuandu Museum of Fine Arts、台北
- 2019 「至近距離の宇宙-日本の新進作家 vol.16」東京都写真美術館、東京  
「眼のうしろ、耳のあいだ」Y gion、京都  
「VOICE AND SOUND WAVES」LE26BY、ブリュッセル／ベルギー
- 2018 「New Japan」Solyanka State Gallery、モスクワ／ロシア
- 2017 「Soundtracks」サンフランシスコ近代美術館、サンフランシスコ／アメリカ  
「Imaginary Guide: Japan」Mystetskyi arsenal、キエフ／ウクライナ  
「シュらん '17」町立久万美術館、愛媛  
「見立てと想像力」元淳風小学校、京都  
「SAPPRO YUKITERRACE 2017」アカブラ、北海道
- 2016 「木津川アート 2016」木津川市、京都  
「六甲ミーツ・アート 芸術散歩2016」六甲枝垂れ、兵庫  
「アートと考古学」京都府京都文化博物館、京都  
「瀬戸内国際芸術祭 2016」小豆島・坂手エリア、香川
- 2015 「Sounds of Us」Trafó Gallery、ブダペスト／ハンガリー  
「Mildura Palimpsest Biennale 2015」Mildura Art Center、ヴィクトリア／オーストラリア  
「われらの時代：ポスト工業化社会の美術」金沢21世紀美術館、石川
- 2014 「phono/graph (Tokyo) — 音・文字・グラフィック」ギンザ・グラフィック・ギャラリー、東京
- 2013 「MEDIA/ART KITCHEN」ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、バンコクの4都市を巡回  
「Once was Now, Now is Over, Yet will come」Platform China、香港  
「ARCTIC」Louisiana Museum of Modern Art、フムレベック／デンマーク  
「trans×form — かたちをこえる」国際芸術センター青森 (ACAC)、青森  
「堂島リバービエンナーレ2013 Little Water」堂島リバーフォーラム、大阪

2012	『Pop Politics: Activism at 33 Revolutions』Centro de Arte Dos de Mayo, マドリード／スペイン 『東京アートミーティング[第3回]／アートと音楽 -新たな共感覚をもとめて』東京都現代美術館、東京 『高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.02 一贈り物と交換ー』高松市美術館、香川
2011	『ヨコハマトリエンナーレ2011 OUR MAGIC HOUR』横浜美術館、神奈川 『MOT アニュアル 2011 ―世界の深さのはかり方』東京都現代美術館、東京
2010	『THE RECORD』Nasher Museum、ノースカロライナ／アメリカ 『音が描く風景／風景が描く音：鈴木昭男・八木良太展』横浜市民ギャラリーあざみ野、神奈川
2009	『サイレント』広島市現代美術館、広島 『ウィンター・ガーデン』原美術館、東京 『Re:Membering ― Next of Japan』DOOSAN GALLERY / GALLERY LOOP、ソウル／韓国
2007	『Exhibition as media』神戸アートビレージセンター、兵庫
2005	『神戸アートアニュアル 2005』神戸アートビレージセンター、兵庫 『stereorium』ARTZONE、京都

## その他

2023	パフォーマンス 『EUTRO LIVE / KYOTOPHONIE』Hosoo Gallery、京都
2016	ディレクション 『post-past』dddギャラリー、京都 パフォーマンス 『communicate mute』クラブメトロ、京都 パフォーマンス 『六本木アートナイト2016』六本木ヒルズ、東京 パフォーマンス 『RECORDS』京都芸術センター、京都
2011	ワークショップ 『10 DAYS international ceramics camp』Icheon World Ceramic Center、利川・韓国 コミッションワーク 『agnès b. “ART FACADE PROJECT vol. 02.1”』アニエスベー青山店、東京
2010	ミュージックビデオ 『蓮沼執太／wannapunch!』WEATHER/HEADZ

## 賞歴

2022	奨励賞 『よんでん芸術文化賞』
2019	奨励賞 『京都府文化賞』
2015	グランプリ 『六甲ミーツ・アート大賞 2015』 主催者特別賞 『六甲ミーツ・アート大賞 2015』
2013	優秀賞 『第1回 京都版画トリエンナーレ』

## パブリックコレクション

-	サンフランシスコ近代美術館（アメリカ） 高松市美術館 CA2M Centro de Arte Dos de Mayo（スペイン） 国際交流基金 愛媛県美術館 東京都現代美術館 横浜美術館
---	---